

右に引用した文章は、大正十三年十一月二十六日付で江戸川乱歩が小酒井不木に宛てた書簡の一部抜粋である。有名な文章で、つまりは乱歩が不木に、「自分は今後、小説家專業でやっつけようか？」と伺いを立てている内容である。行間からは、自分の才能に自信が持てきれずに思い悩む、また若い乱歩の心境がまざまざと浮かび上がってきて、実に興味深い。乱歩の作家デビューは大正十二年で、デビュー作『二銭銅貨』は高い評価を得た。続けて順調に短編を発表していく乱歩だったが、当時勤めていた大阪毎日新聞社を辞めて作家專業に踏み切るには、誰か信用できる見識を持った

この「心理試験」は文章も下手で少し小説といふには余りに小理屈ばかり多く、それに探偵小説を面白くする秘訣とも云ふべき、事件を外から描写する、即ち結果から原因に遡る仕方とは反対な行方で書いてありますから、少からず興味をそいだかも知れませんが、それにも拘らず、私自身では、何だか見所がある様に思ふのです。で、この篇を以て、若し「二鹿人」「双生児」等御読してみつてゐるのでしたら、それらをも御参考の上、私が果して探偵小説家として一人前になれるかどうかを、先生に御判断願ひ度いのです。もし先生の御考で見込がある様でしたら、私は一層奮発して、もつと大物を手がけて見度いと思ふのです。どうか何分の御判断を願ひます。

江戸川乱歩と小酒井不木

不朽の名探偵を誕生させた二人の作家

小松史生子



大正14年8月名古屋旅行の折(左から二番目が乱歩、三番目が不木)提供:平井憲太郎

小松史生子(金城学院大学文学部教授)
東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻単位取得退学。博士(学術)。日本近代文学・大衆文化を専攻。主な著書に、『乱歩と名古屋 地方都市モダンズムと探偵小説原風景(風媒社)』『探偵小説のペソナ奇想と異常心理の言語態』(双文社出版)など。

この不木の揺るがぬ確答と大鼓判によって、乱歩は作家專業に踏み切り、翌年の一月に上京。途次、名古屋に立ち寄り、乱歩と不木は初めて対面する。以降、乱歩はしばしばスランプに陥る時もあれど次々と名作を発表。不木はそうした乱歩を時に励まし、時に論じ、自身の最期まで支え続けた。乱歩にとって不木は永遠に「先生」と呼ぶべき敬愛する人物だったのである。

ひいき目で物を見ると正鵠を失するかも知れませんが私はあなたの凡ての作品を、海外の名篇と比して少しも遜色のないものと見て居ます。(中略)そしてあなたは探偵小説作家として十分立つて行くことが出来ることを確信して居ます。

人物の激励が必要だった。なぜなら、乱歩は当時すでに妻子を持つ家庭の大黒柱だったからだ。高給取りが約束されている現職業を投げうって作家專業を目指すのは、家庭持ちの人間には勇気がいったらう。そんな人生の一大岐路に立つた乱歩が継つたのが、『二銭銅貨』を激賞しデビューを後押ししてくれた名古屋在の作家・小酒井不木だったのである。右の乱歩の手紙に、不木は次のような返事(大正十三年十一月二十九日付)を送った。

8月
August

文学企画
「江戸川乱歩と小酒井不木展」

探偵小説家の乱歩と不木。名古屋とのゆかりや二人の交流を紹介します。
■日時:8月4日(水)~9月2日(木)
10:00~17:00 ■会場:2階展示室7



左 江戸川乱歩 写真提供:平井憲太郎
右 小酒井不木『現代大衆文学全集7』より

9月
September

名古屋お屋敷めぐり
4館スタンプラリー

4館をめぐってプレゼントをもらいましょう!
■日時:9月10日(金)~10月10日(日)
※景品がなくなり次第終了
■会場:文化のみち二葉館、文化のみち
榎木館、旧豊田佐助邸、揚輝荘南園
聴松閣

姫きもの展 着物の柄を生かして
“大小 色々 姫きもの”

■日時:9月15日(水)~9月20日(月・祝)
■会場:2階和室
■協力:
古裂美術工房



正絹で作る
「ミニ姫きもの」
製作講習会

■日時:9月16日(木)~9月18日(土)
■各日10:30~12:00、13:30~15:00
■会場:1階集會室
■定員:各回6名(中学生以上)
■材料費:1,000円
■申し込み方法:9月11日(土)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

「三味線」初心者無料体験講習会
「正調名古屋甚句・どどいつ」
無料体験講習会

■日時:9月25日(土)
13:00~13:45 「三味線」初心者講習会
14:00~14:45 「正調名古屋甚句・どどいつ」
講習会
■会場:2階和室 ■定員:各回10名
■申し込み方法:9月12日(日)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

10月
October

文学企画「名古屋ゆかりの
芥川賞・直木賞作家展」

名古屋ゆかりの受賞作家の代表作などを紹介します。
■期間:10月8日(金)
~11月14日(日)
10:00~17:00
■会場:2階展示室5

左:大島真寿美『渦 妹背山
婦女庭訓魂結び』文藝春秋
右:小谷剛『確証』改造社



2021
EVENT
SCHEDULE

各イベントのお申し込み・お問い合わせは文化のみち二葉館
TEL/FAX 052-936-3836

※月曜休館・祝日の場合は翌平日休館

秋桜会 水彩画作品展

■期間:11月4日(木)~11月7日(日)
■会場:1階集會室

散策ツアー 旧川上貞奴邸の今
~二葉館から旧川上貞奴邸跡へ~

文化のみち二葉館を起点としてスタートし、旧貞奴邸にまつわるエリアをめぐるツアーです。
■日時:11月23日(火・祝)10:30~12:30
■申し込み方法:11月11日(木)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み
■定員:9名

12月
December

「三味線」初心者無料体験講習会
「正調名古屋甚句・どどいつ」
無料体験講習会

■日時:12月4日(土)
13:00~13:45 「三味線」初心者講習会
14:00~14:45 「正調名古屋甚句・どどいつ」講習会
■会場:2階和室 ■定員:各回10名
■申し込み方法:11月19日(日)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み

年忘れ 歌のかずかず

地方歌・俗曲・端唄・座敷歌など様々な日本の伝統歌をお楽しみください。
■日時:12月12日(日)13:30~
■会場:1階大広間 ■定員:25名
■申し込み方法:11月24日(水)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み ■共催:端唄 華房流華の会社中



華房真子

華房小真

ステンド硝子アート&ステンドグラス作品展
「冬のキラメキ」

■期間:12月11日(土)~12月19日(日)
■会場:1階集會室、2階和室
■共催:K.M.Y.ステンド硝子アート協会



きらきら二葉館
クリスマスウィーク
記念撮影をどうぞ!
■期間:12月18日(土)~
12月25日(土)

11月
November

貞奴生誕150年記念 成澤布美子ひとり語り
「十二人の貞奴」

■日時:11月3日(水・祝)10:30~14:00~
■会場:1階大広間 ■定員:各回25名
■申し込み方法:10月20日(水)10:00~
文化のみち二葉館に電話申し込み



画家 柳瀬辰久展
東北紀行 路標

一奥入瀬から八甲田へ

■期間:11月3日(水・祝)~11月7日(日)
■会場:2階和室



「名古屋ゆかりの芥川賞・直木賞作家展」
トークイベント

市内の書店員の方々に、名古屋ゆかりの受賞作家や作品についてお話しいただきます。
■11月14日(日)13:30~15:00 ■会場:1階大広間
■申し込み方法:10月26日(火)10:00~文化のみち二葉館に電話申し込み ■定員:30名

まちなかアーカイブ展

■期間:11月25日(木)~12月2日(木)※最終日は15:00まで
■会場:2階和室 ■共催:芸術創造センター

トニエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで
入館料割引一般200円→160円



NEWS LETTER
ふたば便り Vol.33 発行日 2021年8月5日

発行/文化のみち二葉館[名古屋市内旧川上貞奴邸] 指定管理者 アクティオ株式会社
〒461-0014 名古屋市東区榎木町3-23
TEL & FAX 052-936-3836 https://www.futabakan.jp/